

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・  
指定都市名

福島県

地域名

広野町

人権課題

障害者、インターネットによる人権侵害、性的指向・性自認、震災・放射線に関する内容

各組織の動き・役割等

授業研究会・教育講演会 → 研究紀要及び研究報告書・リーフレットの作成・配付

人権教育総合推進会議 → 指導計画の整備

人権教育実行委員会・人権教育総合推進会議

→ 園小中の体系的な人権教育カリキュラムについて協議

子どもの「感」を意識した教育活動の在り方について協議

福島県教育委員会

広野町教育委員会

各校園のPTA

人権擁護委員

地域コーディネーター

町関係各課  
(町民税務課)  
(こども家庭課)  
(生涯学習課)

広野町立広野中学校：指導計画に則り、人権課題「性的指向・性自認」について、地域の助産師を招聘した学級活動「かけがえのない自分と思春期の性」を通じて学習した。

広野町立広野小・中学校：指導計画に則り、人権課題「震災・放射線に関する内容」について、福島県独自の「ふくしま道徳教育資料集」を活用した道徳科の授業や「ふるさと創造学（総合的な学習の時間）」における地域探究活動・他地域とのオンライン交流を通じて学習した。

広野町立広野小学校：指導計画に則り、人権課題「インターネットによる人権侵害」について、外部講師を招聘した学級活動「情報モラル教室」を通じて学習した。

広野町立広野小学校：指導計画に則り、人権課題「障害者」について、富岡支援学校や人権擁護委員との体験活動・オンライン交流を通じて理解を深めた。

広野町立広野こども園：指導計画に則り、人権課題「高齢者（障害者）」について、社会福祉協議会や老人クラブとの体験活動を通じて理解を深めた。

校種間連携の  
概要

- ・こども園・小・中学校の連携のために研修主任を中心とした実行委員会を設置し、各校園の教育活動を見直し、人権課題に関連する内容について「人権教育カリキュラム」に整理した。結果、小学校では「障害者」、「インターネットの人権侵害」について、中学校では「性的指向・性自認」、「震災・放射線に関する差別等」について学習し、人権教育における知識的側面について理解することができた。

地域との連携  
の概要

- ・こども園、小学校、中学校、PTA、人権擁護委員、地域コーディネーター、町関係各課及び教育委員会等で構成された人権教育総合推進会議において、地域や保護者からの「連携するための積極的な情報発信を」という声を生かし、授業参観日や学校公開日を設けたり、地域住民を招聘した授業を行ったりするなど、教育課程の中に反映した。また、保護者と地域住民に対し、教育講演会や広報誌を通じて人権啓発を行った。